

忠海学園

学校運営協議会の取組

1 学校運営協議会の組織構成

- ①学識経験者1名
- ②PTA代表1名
- ③地域代表(福祉関係施設)1名
- ④地域交流センター2名

※少人数のメリットを生かす

2 学校運営協議会の活動状況

①活動日

隔月の10日(※10日が週休日の場合は、その直後の平日)

②活動時間

午後4時～(授業参観を行う場合は6校時開始時から)

③参加者

学校運営協議会5名, 校長, 説明員(※必要時に教職員), 市教委
担当者(指導・助言)

3 学校運営協議会の活動計画

- 1 第1回(4月) 校長の学校運営方針に関する協議
- 2 第2回(6月) 外国籍の児童生徒に関する指導の充実について
- 3 第3回(8月) 感染症への対応、義務教育学校への転換について
- 4 第4回(10月) 授業参観, 学校評価の中間評価
- 5 臨時(11月) 義務教育学校化に向けての検討
- 6 第6回(12月) 学校運営協議会の申出書検討
- 7 第7回(2月予定) 学校評価の最終評価

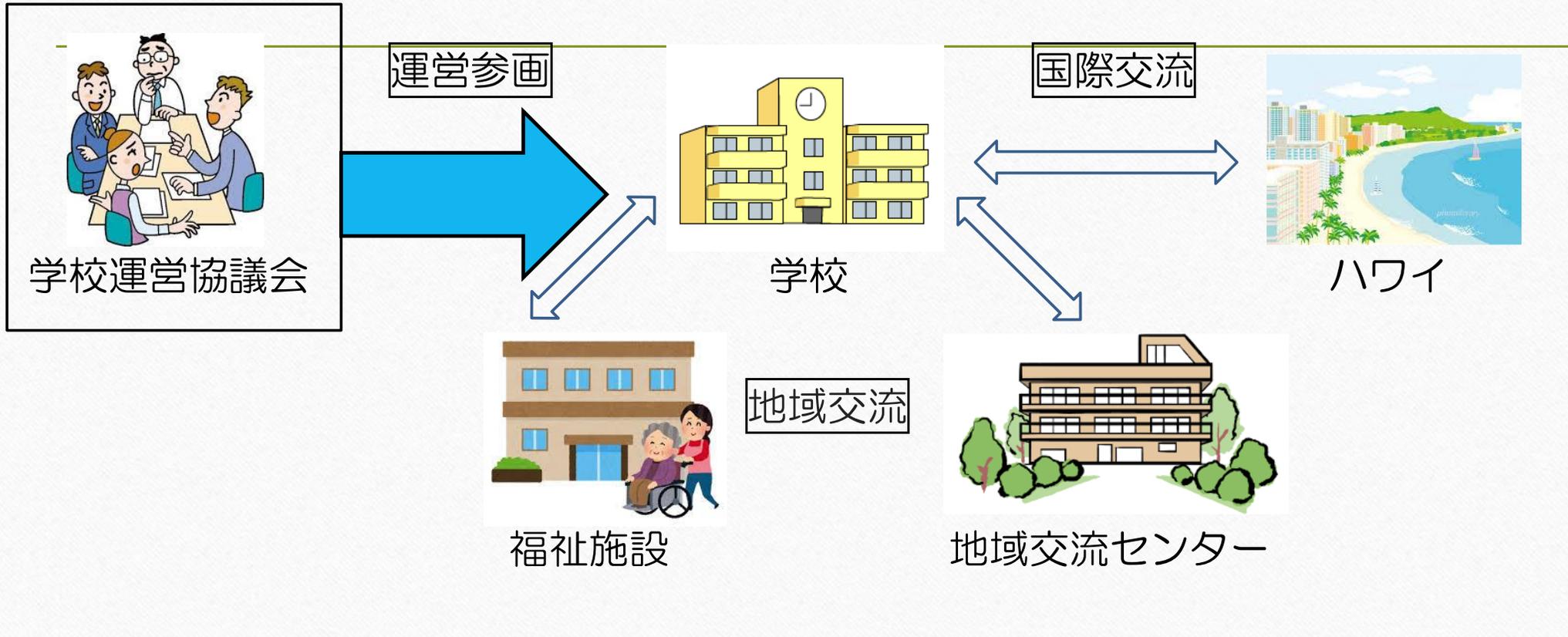
4 これまでの取組について

○グローバル・スクール化構想の策定

【グローバルとは】

- ・「グローバル(Global世界)」と「ローカル(local地域)」を掛け合わせたことば
- ・「グローバルな視点」ー外国語のスキルだけではなく、異文化への理解力を活かし世界中の人々とコミュニケーションをとる能力
- ・「ローカルな視点」ー自分の住む地域に誇りや自信を持ち、地域社会を担っていくこと

グローバル・スクール構想



忠海学園グローバル スクール化構想



Global 教育(国際学習)

TGG(Takehara Global Gateway)との連携

海外観光客インタビュー
海外派遣・Debate等

Tokyo Global Gateway
アートマイル国際協働学習

JICA講師招聘学習
福祉体験学習

地域や海外に向け
て学びを発信する

地域を深く知る
地域の人と交流する

国際交流の手段を考える
SDGs・地域課題を交流する

地域を知る
地域を学ぶ

SDGsについて考える
地域課題を考える

福祉学習・聖恵文化祭
伝統文化学習

防災・環境学習
地域調べ学習

3つの学びの場の充実

- 1 本から学ぶ
- 2 地域から学ぶ
- 3 他国から学ぶ

Local教育(地域学習)

小学校中学年

小学校高学年

中学1年

中学2年

中学3年

5 具体的取組

- 1 地域人材の指導者活用
- 2 ハワイ・台湾との交流の実施
- 3 地元の福祉施設等との交流

① 地域人材の指導者活用

英語教育に精通する人材を
運営協議会で協議・紹介し
小学校の英語科に講師として
活用



② ハワイ・台湾との交流の実施

- ・オンラインを活用した、生徒間交流の実施
- ・アートマイル事業の活用



③地元の福祉施設等との交流

- ・総合的な学習の時間を活用した
地元の高齢者施設との交流会の
実施



6 今後に向けて

忠海学園の義務教育学校化
の準備に向けた取組

